

狐憑きの巫女、

退魔の力で奥まで――





ときは戦国

まだ妖の存在が  
身近だった頃――



これは  
ひどい……

この村には  
村を守り清める  
「葵」様という  
巫女がいました

退魔師  
蘇芳





嫌な  
空気だ

おや  
珍しい



ここか…



わらわに  
客か？



あの姿…

俺は退魔師の  
蘇芳



んん？

お前村の者では  
ないな？



妖は狐か！



誰が返すか！  
この巫女の  
からだは…

村の巫女を  
返して  
もらう！

へゅ

す



常人より高い  
わらわの力と  
よく馴染む  
霊力で…



…お前の攻撃も  
心地よく感じるわ



ここまで力の  
ある妖とは…!!

ならば…!!



逃げ…て

!!



我が退魔の一族に  
伝わる秘術  
「淫祓」しかない！



葵か!?

私が取り憑かれたのは  
己の未熟さゆえ…



あなたまで  
巻き込むわけには  
まいりません



逃げて  
ください！

私が妖を  
おさえている  
うちに…！



葵！

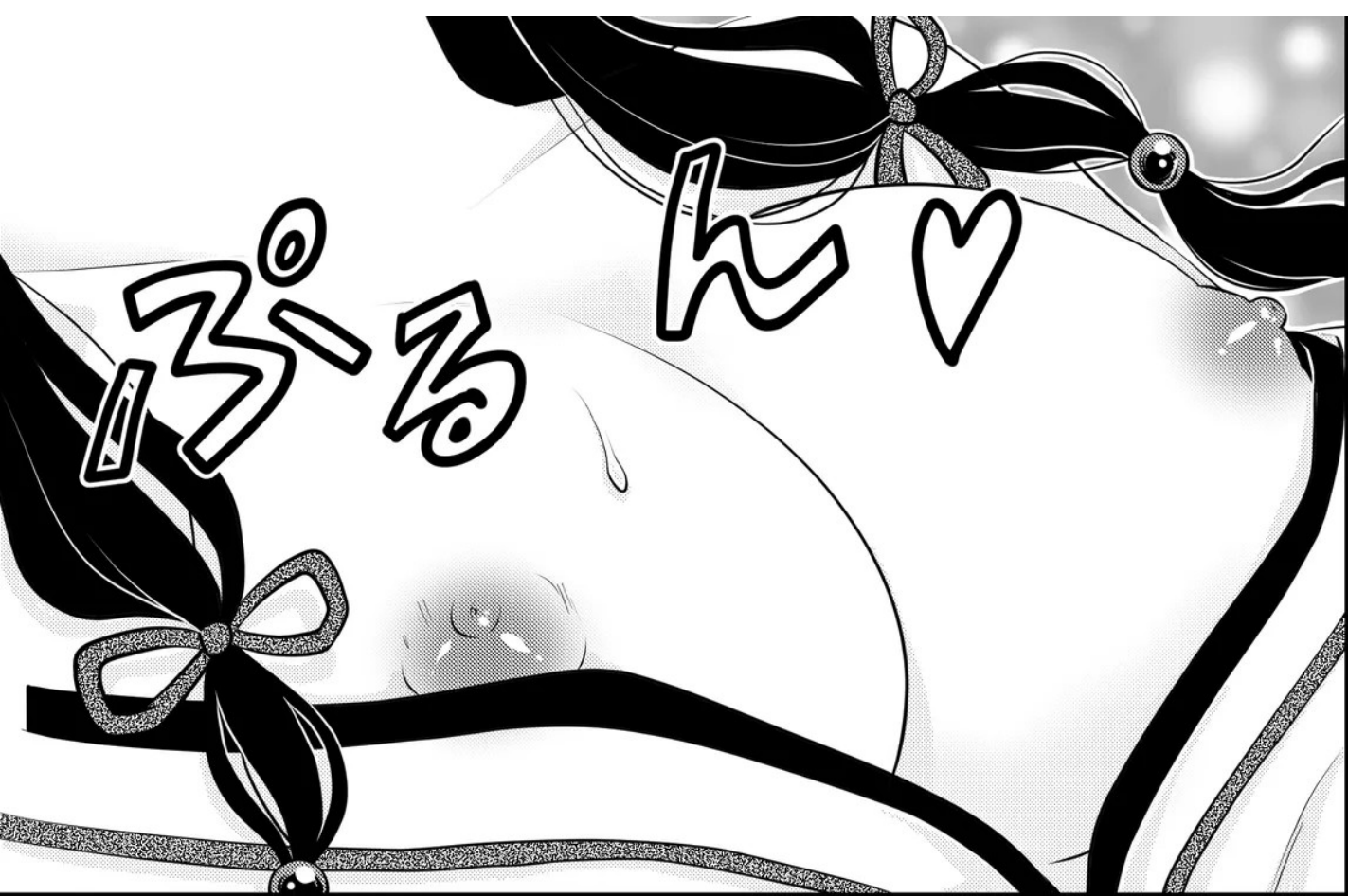
そのまま妖を  
おさえている！



どう…か  
ええい  
うっとおしい！

早う完全に  
身体を  
明け渡さぬか！

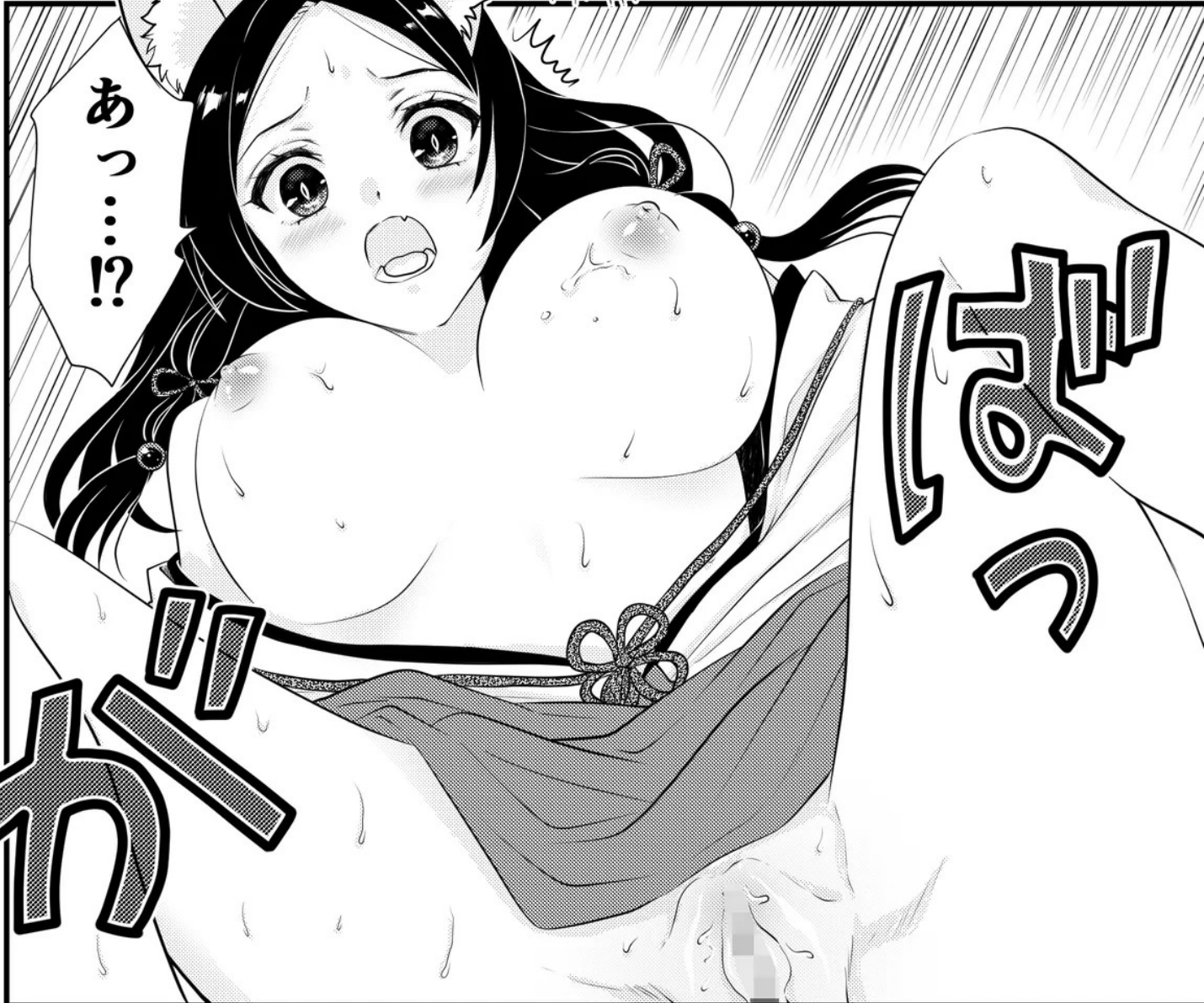






俺の霊力が  
少しずつ効いて  
きている

身体は反応  
している



あっ...!?

はっ

わ



ひあっん!

よく濡れて  
いるな...

くちゅ



全て  
受け止めて  
もらう!!

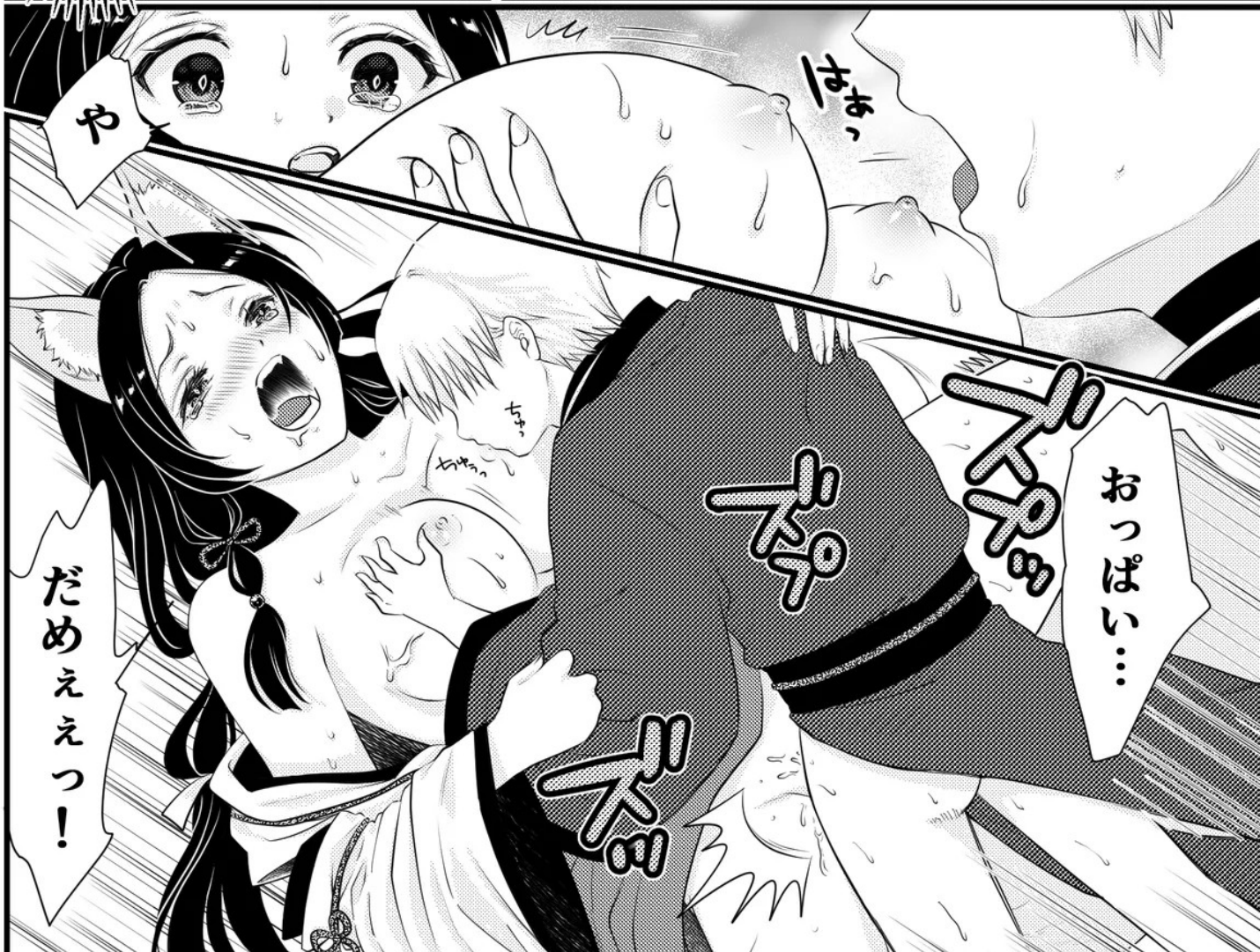
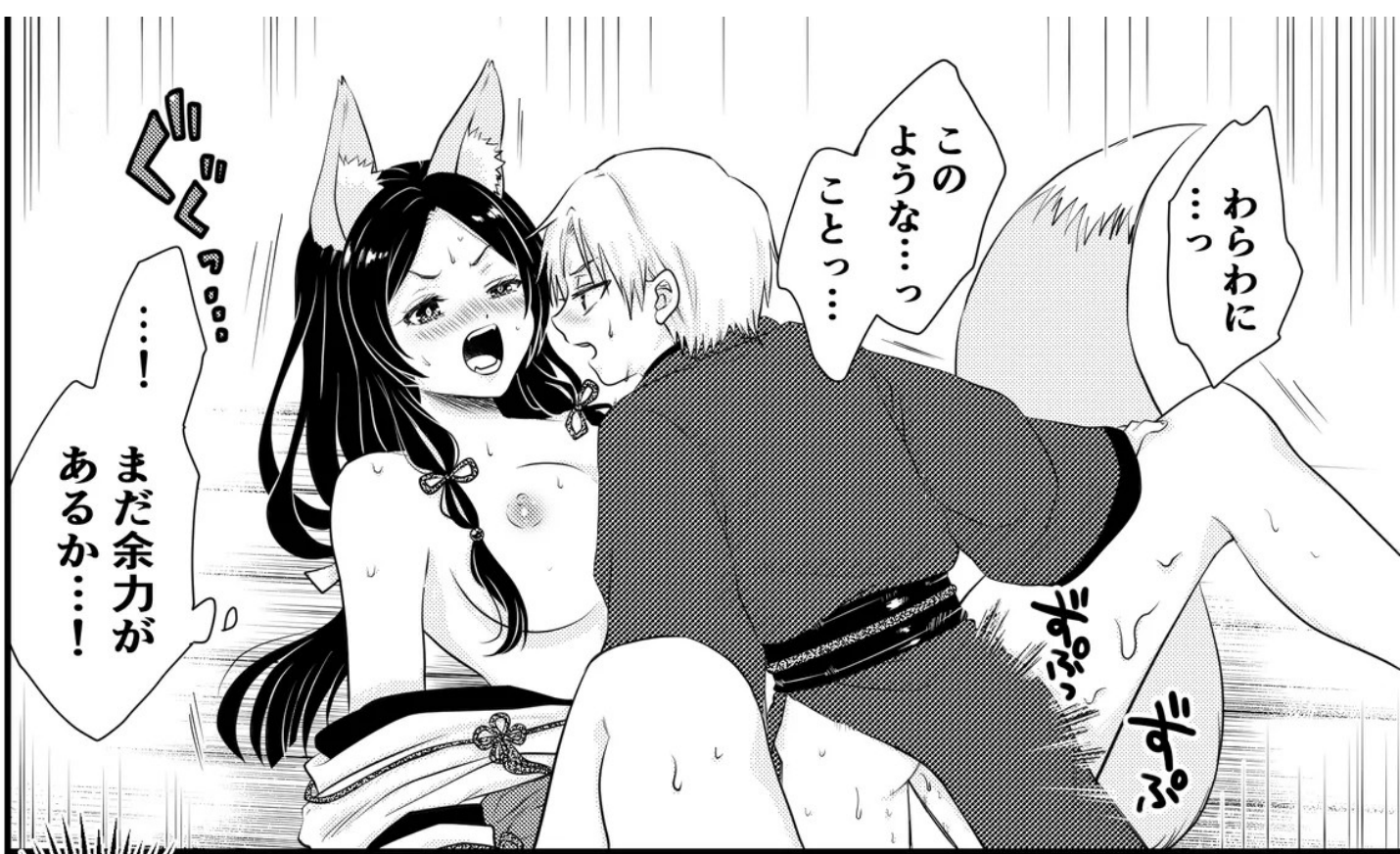


な...

俺の霊力



ばんばん





三三三

== 16 16 ==

あつ

蘇芳さまっ

もつと奥まで  
突いてえっ…

したいのに……！





まさか  
イカされそうに  
なるとは…!!

あぁっ



危なかった…

は—…



イカせた  
あとに俺が霊力を  
注がないと

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ

被うことが  
できないという  
のに…!!



…蘇芳



あぁんっ

これ  
しゅき…っ

ビュッ

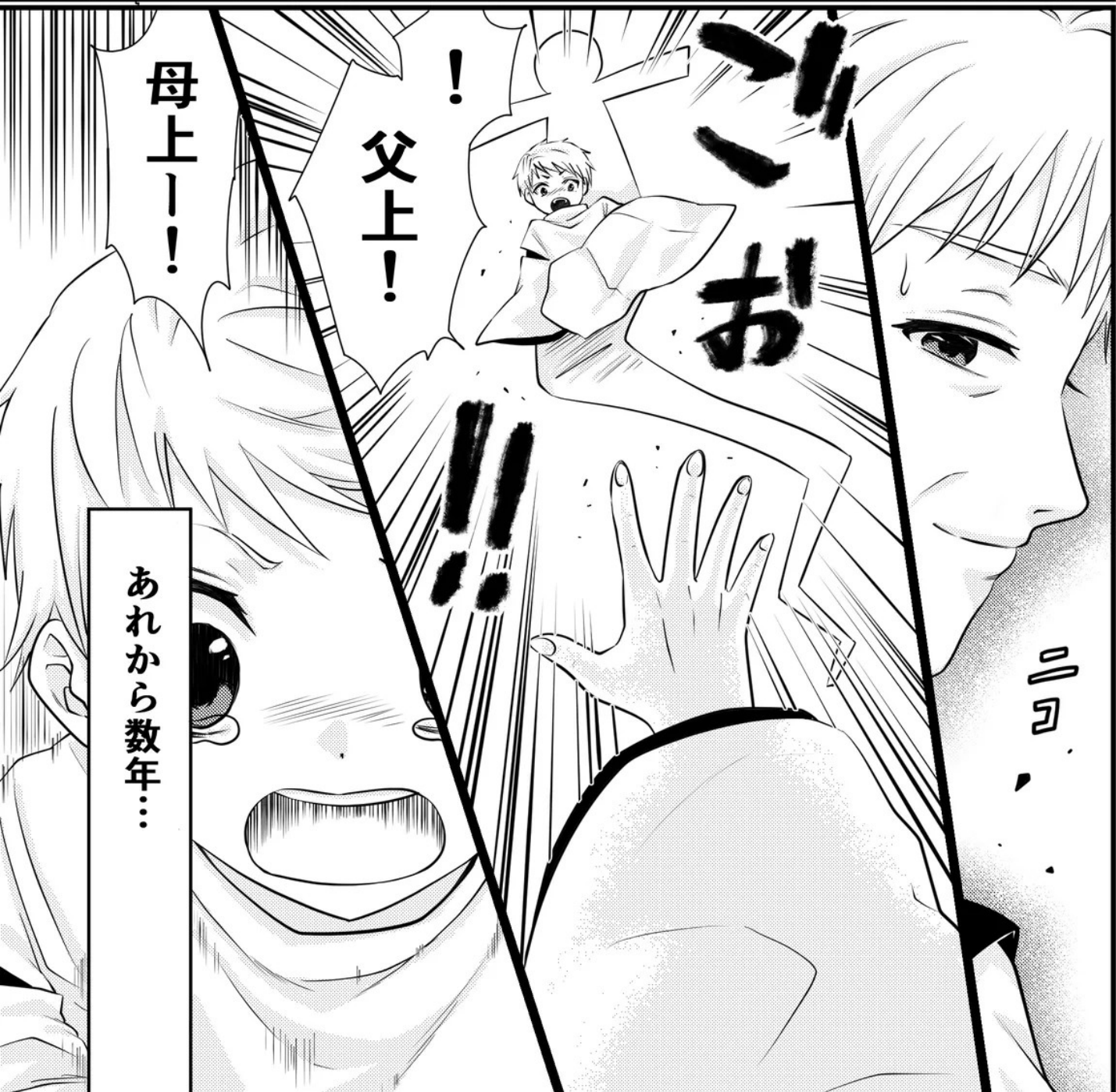


俺も一緒に  
戦える！

お前まで同じ道を  
辿る必要はない

一族一番の霊力を  
秘めているとは言え  
お前はまだ幼い…

我が一族は  
妖たちの恨みを  
買いすぎた…



母上ー！！

父上ー！！

あれから数年…



一族を  
復興するため

こんな  
ところで負けて  
いられない!

カッ

ず

あ!?

ああっ

気持ちいい  
よおっ!!

おん

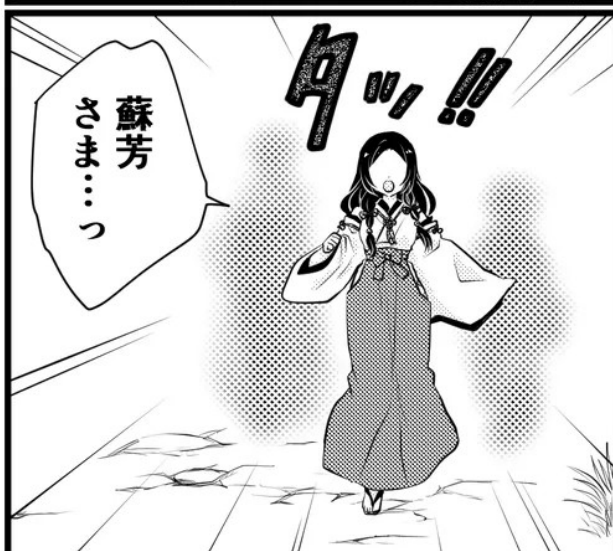
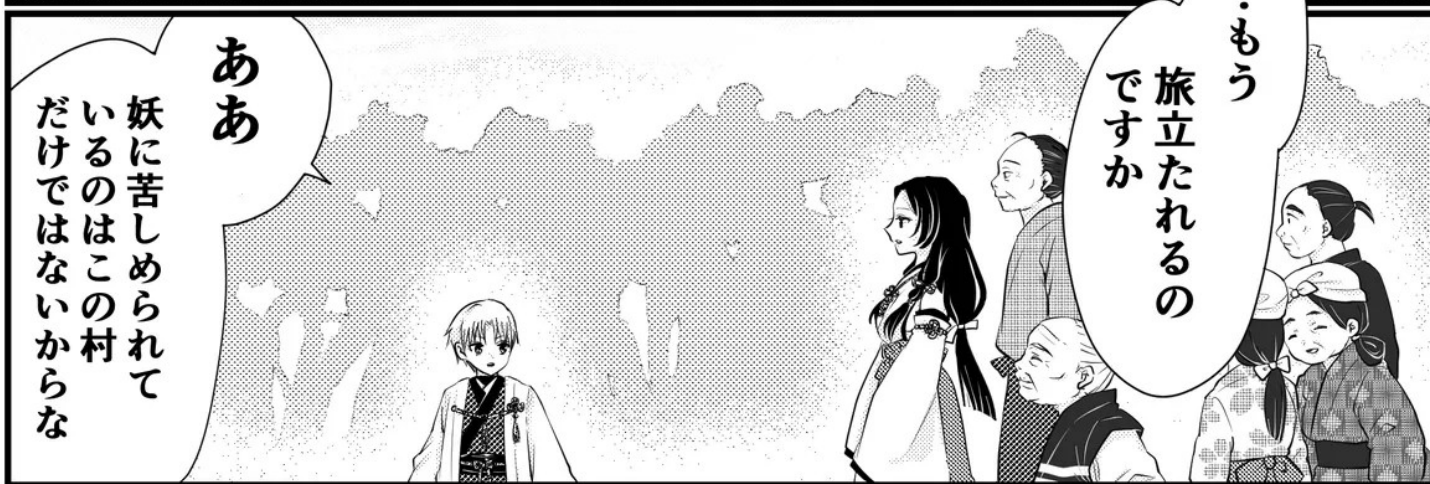
おん

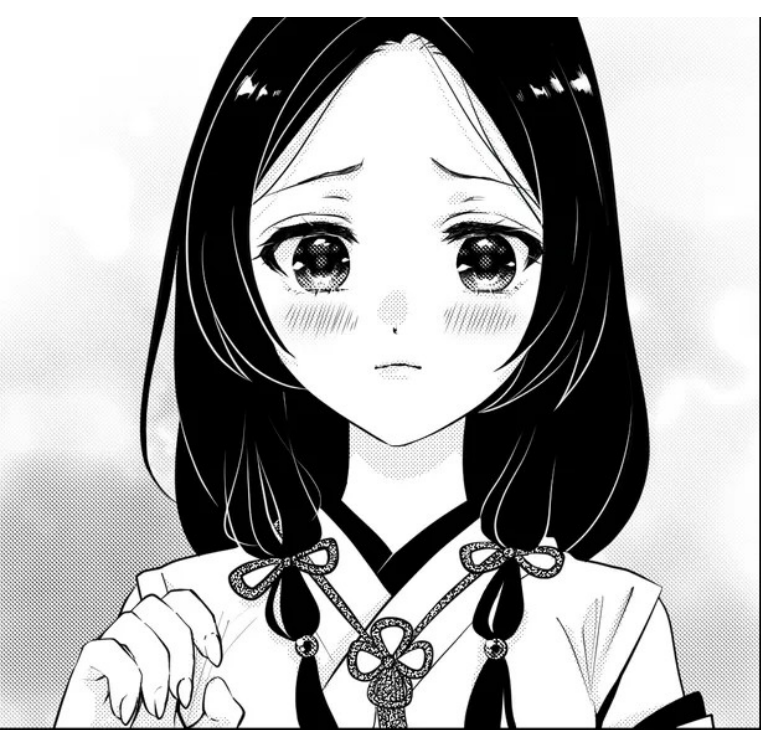
も...う...!!

ん

中で  
大きく...







今日も彼は  
人々のために  
その力を  
奮う…



淫払い師

蘇芳

ありがとう  
ございました!

